

2023年1月17日

鹿児島大学病院 で

腎移植を受けた患者さんへ

(生命科学・医学系研究に関する情報)

当院では、以下の生命科学・医学系研究を実施しております。生命科学・医学系研究とは、従来の臨床研究、疫学研究、ヒトゲノム・遺伝子解析研究を含み、人を対象として国民の健康の保持増進、患者さんの傷病からの回復、生活の質の向上に資する知識を得る等を目的とする研究のことです。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

移植後保存期腎不全と腎廃絶時の次治療移行における安全な管理方法の構築

【研究の目的】

腎移植患者の中長期成績は著しく改善しましたが、現在でも感染症や癌を原因として移植腎機能喪失（または死亡）する症例が散見されます。今回、当院の移植後保存期の腎機能・ワクチン接種率・内服薬アドヒアランス・癌検診施行率・生着率・末期腎不全移行期における合併症等を調査し、課題を検討することで、更なる移植腎生着率の向上を目指すことを目的とし、この研究を実施します。

【研究の方法】

診療カルテから、当院の移植後保存期の腎機能・ワクチン接種率（B型肝炎、COVID-19）、肺炎球菌ワクチン・内服薬アドヒアランス（免疫抑制剤の

変動率)・癌検診施行率・生着率・末期腎不全移行期における合併症等を調査します。

【研究期間】

研究認可日～ 2023年4月30日

【対象となる患者さん】

2005年1月1日～2022年9月30日までに、当院腎移植外来にてフォローされている、または過去にフォローされていた腎移植患者さんを対象とします。

【試料や診療録(カルテ)から利用する情報】

1. 利用する情報の項目

通院患者におけるワクチン接種歴(COVID-19、肺炎球菌、B型肝炎)、内服のアドヒアランス評価(免疫抑制剤の血中濃度の変化)、癌検診施行歴ならびに、移植患者さんが末期腎不全移行期となった場合、選択した次の腎代替療法と合併症などの情報をカルテから利用します。

2. 利用する情報の責任管理者

鹿児島大学病院血液浄化療法部 部長 榎田英樹

【研究組織】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

鹿児島大学病院血液浄化療法部 准教授 山田保俊

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や生年月日など、患者さんを直接特定できる個人情報を匿名化します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しま

せん。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、鹿児島大学病院血液浄化療法部の研究費（使途特定寄附金）で実施します。この研究は、研究者が独自に計画し、実施します。企業等の第三者機関からこの研究のための資金提供や労務提供は受けていませんので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘8丁目35番1号

鹿児島大学病院 血液浄化療法部

准教授 山田保俊

電話 099-275-5615 FAX 099-275-5864